



7月新着図書案内

上旬版

富山中部高校図書館



過去と和解するための哲学

山内 志朗 著

「もしあの時に戻れるなら」。誰もが抱える「後悔」。そんな過去と和解することは可能か。もし可能であればどうすると和解できるのか。やり場のない思いと向き合い、前を向いて歩くために、注目の哲学者が考える。



教誨師

堀川 恵子 著

戦後、半世紀にわたり死刑囚と向き合い、悟りを説いてきたある僧侶。死刑執行にも立ちあう過酷な任務に身を削りながら、誰にも語れなかった懊悩。人は人を救えるのか。僧侶の遺した言葉を積み重ね、事実を浮き彫りにする。



人間の偏見 動物の言い分 動物の「イメージ」を科学する

高槻 成紀 著

キツネは“ずるい”、タヌキは“マヌケ”。そのイメージにはワケがあった！ 動物の「ステレオタイプ」はどこから生まれたのか。生態学者がその起源と変遷、そして「ヒトと動物の関係」をひもとく。



死を生きた人びと 訪問診療医と355人の患者

小堀 鷗一郎 著

最後の日々をどう生きいかに終えるか。これまでに355人の看取りに関わった訪問診療医が語る、患者たちのさまざまな死の記録。日本の終末医療が在宅診療・在宅看取りへと舵を切りつつある今、必読の書。

2018年7月20日(金)公開！ 「サマーウォーズ」「おおかみこどもの雨と雪」「バケモノの子」でおなじみの細田守監督待望の最新作原作本です！

未来のミライ

細田 守 著



生まれたばかりの妹に両親の愛を奪われ、戸惑うくんちゃん。ある日、未来から来た妹・ミライちゃんと出会った。彼女に導かれ、時をこえた冒険に旅立つと、出会ったのは幼い頃の母、父の面影を持つ青年——様々な出会いを経て、くんちゃんが最後に辿り着いた場所とは。

図書館からのお知らせ

期間限定企画「**思いを短冊に書いてみよう**」
引き続き実施しています。
何気ない願いを
短冊にしたためて
みては？